

平成26年度
事業計画書

目次

【1】	新市場販路開拓事業	
	(1) 受注促進・販路開拓支援事業	1
	(2) 技術系展示会出展事業	1-2
	(3) 地域デザイン力発信事業	2
	(4) 海外販路開拓支援事業	2
【2】	企業開発力強化事業	
	(1) 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト事業	3
	(2) 産学連携共同研究開発事業	3-4
	(3) 技術開発総合支援事業	4
	(4) デザイン開発力強化事業	5
	(5) 生活デザイン産業創出事業	5
	(6) 燕三条ものづくり展示会開催事業	5
	(7) 戦略的基盤技術高度化支援事業	6
	(8) 地域資源活用トータルデザイン推進事業	6
【3】	燕三条ブランド推進事業	
	(1) プライドプロジェクト支援事業	7
	(2) 産業観光推進事業	7
	(3) 燕三条Wing運営事業	8
	(4) 燕三条ブランド強化・発信事業	8
【4】	企業人材育成事業	
	(1) 燕三条ものづくり大学事業（技術研修講座）	9
	(2) 戦略的ものづくり経営力強化事業	10
	(3) 企業向け情報提供事業	10
【5】	需要開拓事業	
	(1) 展示・即売事業	11
	(2) 燕三条駅観光物産センター事業	11
【6】	収益事業	
	(1) 他地域連携販売事業	12
	(2) 貸館事業	12
	(3) レストラン運営事業	12

【1】新市場販路開拓事業

○事業費:62,503千円

○財 源:事業収入 5,257千円 市負担金 57,246千円

【事業の重点】

- ◆ 燕三条地域企業を支援するため、地域外企業訪問を中心とした営業活動を行い、地域外企業のビジネスパートナーとしての受注拡大を図る。
- ◆ 技術系展示会へ地域企業とともに出展し、地域企業のPRと受注活動の推進を行う。
- ◆ 当地域の強みの一つであり、資源といえる「デザイン開発力」について、その高さの指標である国内外のデザイン賞を得する支援を行い、受賞数と新規取組企業の増加を目指す。
- ◆ デザインイベントへの出展やデザインギャラリーの活用等でデザイン性の高い燕三条商品をPRすることにより、地域企業のデザイン意識向上と地域ブランド力強化による販路拡大を目指す。
- ◆ ものづくりのグローバル化に対応し、地域企業の海外販路拡大を目的としたビジネスマッチングを図るため、アジアを中心として市場動向調査を行う。

(1) 受注促進・販路開拓支援事業

(事業費:13,662千円 財 源:市負担金13,662千円)

① 地域外企業訪問による受注促進

当地域企業への新規受注促進のため、継続取引案件を有する企業や成長ビジネス関連分野に関する有力企業を訪問し、燕三条地域のものづくり技術集積をPRしながら、新規開発案件などの情報を企業に提供する。また、燕三条地域企業と関係の深い金属加工を中心とした分野について、事業拡大や再編、新規事業を行う有力企業の情報を展示会出展や県外企業訪問などを通じて収集し、当地域企業と連携の可能性が高い情報発信企業は直接訪問して新規販路を開拓する。

目標値:引き合い件数700件、成約件数60件

② 地域外有力企業の招へいによる受注促進(新規)

地域外優良企業を招へいし、燕三条地域企業へ同行訪問することにより地域内企業のPRと受注促進を図る。

③ 地域内企業への情報提供による事業活動の活性化支援

登録企業約600社にニュース(リサーチコア通信)を送信し、技術情報・引き合い・セミナー案内、産業振興部の活動報告などの情報を提供し、地域企業の事業活動の活性化に寄与する。

④ 燕三条地域企業が保有する技術情報などを地域外企業へ配信

展示会出展時に名刺交換した企業担当者及び企業訪問時に面会した担当者へ、燕三条地域企業の保有する加工技術や新商品、展示会出展情報などを紹介する。

⑤ 燕三条地域企業ガイドブックの更新

⑥ 「燕三条 工場の祭典」の開催(新規)

ものづくり地域である燕三条の理解を深め、イメージアップを図るため、市と連携して燕三条工場の祭典を開催する。

(2) 技術系展示会出展事業

(事業費:18,134千円 財源:事業収入3,395千円 市負担金14,739千円)

① 地域企業との共同出展による受注促進

機械要素技術展及び関西機械要素技術展に地域企業と共同出展することで地域産業の積極的なPRを行い、地域企業の直接的な販路拡大を図る。

【出展展示会】(予定)

展示会名	時期	期間	小間数	共同出展	目標件数	
					引合件数	成約件数
機械要素技術展	6月	3日間	7小間	23社	140件	10件
関西機械要素技術展	10月	3日間	3小間	7社	80件	6件

(3) 地域デザイン力発信事業

(事業費:4,143千円、財源 事業収入450千円 市負担金3,693千円)

① 海外デザイン賞取得支援(新規)

マーケットのグローバル化に対応するため、全世界的に評価が高く、海外での販路拡大に有効な国際デザイン賞(IFデザイン賞、Red dotデザイン賞など)の取得に向けた支援を行う。

② 国内デザイン賞取得支援

受賞数と取組企業の更なる増加のため、応募説明会、申込みに対するアドバイス、受賞イベントを開催し、取得に対する一貫支援を行う。

③ グッドデザイン展2014への出展

当地域のデザイン性の高さをPRするため、アジア最大規模のデザインイベントに地域企業と共同出展し、情報発信を行う。(東京、11月)

④ デザインギャラリーの運用

グッドデザイン賞受賞商品、地域の海外戦略商品、地域ブランド商品など、デザイン性に優れた商品をデザインギャラリーに展示し、地域内外へPRする。

(4) 海外販路開拓支援事業

(事業費:26,564千円 財源:事業収入1,412千円 市補助金25,152千円)

① 海外展開推進会議の開催

② 海外販路開拓に関する専門セミナーの開催及び個別指導

◆ 東南アジアでの売れ筋商品(トレンド調査)などのセミナー

◆ 貿易実務セミナー(初級、中級)(JETROとの共催)

◆ ドイツ在住の日本人コンサルタントによる海外販路開拓に必要なものづくりセミナー及び商品開発などの個別指導。ドイツで開催の展示会出展後のフォローアップなど

③ シンガポール共同事務所の活用

◆ 販路開拓に有効な政府・公的支援機関等の人脈づくり

◆ シンガポールを市場とする高級品の販路開拓

◆ シンガポールを情報拠点とする周辺国へのアプローチ

◆ 燕三条地域に有効な展示会情報の提供とフォローアップ

④ 展示会への出展

◆ METALEX2014(タイ・バンコク)(H26/11月)

ASEAN最大級の金属加工・工作機械、金属加工技術関連の見本市

◆ メゾン・エ・オブジェ(パリ)(H27/1月) 世界最高峰のインテリア&デザイン関連見本市

◆ メゾン・エ・オブジェ(シンガポール)(H27/3月)(アジアで2回目)

⑤ 産業交流調査ミッション(H26/8月 予定)

シンガポール周辺国のひとつとして、今後の経済成長が期待されるマレーシアとの人的交流を進展させるため、展示会での情報調査及び政府・公的支援機関、企業等を訪問し、燕三条地域との交流連携について意見交換を行う。

※マレーシア国際金属加工技術&機械工具展示会(MTT2014)(H26/8/27~30)

工作機械、金属加工、金型、成形、製造技術に関する専門展示会(2年に1回)

【2】企業開発力強化事業

○事業費:70,875千円

○財 源:事業収入7,005千円. 市負担金29,470千円. その他補助金600千円.

国受託事業収入22,500千円

【事業の重点】

- ◆ 大学等研究機関の高度な知識と経験を活用し、当地域が持つ基本技術の高度化を図るとともに、先進企業等の技術やアイデアを活用し、当地域にマッチした新分野への参入を促進する。
- ◆ 日本海側で最大級の170社の出展を目指した「燕三条ものづくりメッセ」を開催し、燕三条地域の特徴的な技術を有する多くのものづくり企業が地域内外に広く技術をPRし、ビジネスマッチングを図る。
- ◆ 地域が磨き上げてきた“ものづくりの資源”を活かし、新たな暮らしの楽しみ方や快適な暮らしの開発提案で新たな市場を作り出す提案型産業の創出を目指す。
- ◆ 地域の素材、技術、知恵を活用した『しくみ』を総合的にデザインし、『ものづくり』の地域から『ものづくりのトータルコンテンツ』を有する地域として発信。地域の高付加価値化を図ると共にしくみの活用による地域企業の継続発展を目指す。

(1) 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト事業

(事業費:1,485千円. 財源:事業収入255千円 市負担金1,260千円)

会員企業間の連携を促進し、試作・小ロットに迅速に対応できる能力を高め、当地域の特徴を活かして幅広い分野に参入できるようスキルアップを進める。

① 展示会など出展による試作・小ロット品需要の開拓

- ・ 試作に特化した展示会(試作市場)への出展と受注開拓。

会期:2014年5月29日(木)、30日(金)

会場:大田区産業プラザ 出展予定小間:3小間

目標:継続的な事前PRを進め、グループメンバー共同による受注の実現

- ・ 学協会、大学等と連携した集中展示の実施

大学での展示で研究機器や部品加工に対応し新分野へ先行して取り組むきっかけを作る。

県内で開催される各種学会に研究機器事例の展示を行い、PRと受注活動を努める。

② 企業間連携の強化による新規案件の開拓

例会を月1回程度行い、会員間の連携を深め共同受注開拓につなげる。併せて各回にテーマを決め、連携創出の具体的方策を探る。

③ 課題解決力の向上プログラムの実施

技術研修事業等も活用し、課題解決・提案力のスキルをアップさせる実習・訓練のプログラムを実施する。併せて見学会なども実施し、課題解決力のPRを進める。

(2) 産学連携共同研究開発事業

(事業費5,157千円. 財源 事業収入1,657千円 市負担金2,900千円 その他補助金600千円)

当地域の持つ基盤技術の高度化を図り競争力を高めるとともに、将来を方向付けできる分野に特化した研究会を開催し、地域全体の技術の底上げを目指す。併せて新分野参入の方向付けとなるセミナーを実施する。

① 3Dプリンタ活用技術研究会(新規)

試作品や設計評価に注目されている「3Dプリンタ」を当地域の開発に積極的に活用することを目的に、最新情報の提供、プリンタや3D-CADの活用と利用技術の調査、先進事例見学などを行う。

② カuttingエッジ評価技術研究会

各種刃物の刃先に着目し、刃先形状のナノオーダーの評価と図示化を確立し、併せて企業が現場で利用できるCuttingエッジ(刃先)測定装置の試作を進める。

③ 先進バリ取り技術研究会

製品/部品の端面仕上げ技術に着目し、高品位で低コストのバリ取り技術の確立を目的に技術紹介や先進企業見学会を行い、企業での現場指導を進める。

④ 航空機産業参入研究会

航空機の整備や運行部門への参入を目的に航空会社との連携を深め、今までの記念品製作を元に、提案型開発を進める。

⑤ タグチメソッド活用研究会

製品開発において適正条件の選定を迅速に進める技術である「品質工学」に着目し、主に今までの基礎技術を身に付けた企業等を対象に、企業現場での応用につなげる。

⑥ 新技術・新材料研究会

エネルギー、新材料、表面処理などそのときのトピックスについて、様々なテーマのセミナーを実施し、当地域の取り組むべき技術を見極め、次の研究会につなげる。

⑦ 長岡技術科学大学との連携協議会の開催(新規)

大学教員との意見交換会(ニーズプレゼン)や当地域企業や大学研究室の見学会を行い、新しい連携創出を図る。また、大学教員のコネクションを利用した大手企業とのマッチングや海外技術調査も検討する。

(3) 技術開発総合支援事業

(事業費:5,162千円 財源 事業収入1,509千円 市負担金3,653千円)

OB人材や専門家を積極的に活用し、当地域企業の商品開発力・産業財産権への意識・企業力等の向上を支援する。また、それぞれの課題に対応できる専門家から直接指導を受け企業の競争力を高める。

① 知的所有権相談

特許、意匠、商標の各相談を実施する。企業への周知を図り、セカンドオピニオンも含めた新規案件を増やし、より幅広い企業に対し支援を実施する。

② 技術専門家派遣

高度な判断を必要とする技術案件について、高い専門知識を有した技術者・研究者を企業に派遣し問題解決に当たる。また、当地域に精通し経験豊富で専門的知識を持つOB人材を発掘してデータベース(仮称:燕三条技術OB人材バンク)を作る。

③ 職員による技術相談

技術系職員による技術相談を進める。担当者の専門技術の再検討とスキルアップを行い、それを公開して利用件数の増加を進める。

④ 機器利用促進

設備紹介説明会を継続して利用を促進し、併せて更に高度な要求に応えられるように職員のスキルアップを行う。

⑤ 支援事例集の作成

当センターの知的所有権、技術相談に関する各種支援事例及び機械設備等活用事例集を作成し、ホームページで公開する。

(4) デザイン開発力強化事業

(事業費 2,696千円、財 源 事業収入214千円 市負担金 2,482千円)

① 商品企画、デザイン個別相談の実施

地域企業からの商品企画・デザイン開発への相談に対してセンター職員が企業を訪問し、アドバイスをを行う。また必要に応じ外部デザイナーとのマッチングを行う。

②デザイン啓発イベントの開催

地域企業に必要とされる、コミュニケーション(伝える)デザインに対する意識向上、及びデザイナーとのビジネスマッチングを図るイベントを開催する。

③地域デザイン団体活動支援

燕三条デザイン研究会・つばめデザイン研究会の活動に対するサポートを行う。

(5)生活デザイン産業創出事業

(事業費 3,335千円、財 源 事業収入 200千円、市負担金 3,135千円。)

①テーマ:既存躯体を傷めず、設置可能なフレームに、多様な専用アイテムを取り付けることにより、様々な『趣味の空間』を創り出すことができる商品群の開発。

②平成24年度より開発を進めて来た、趣味生活を楽しむ空間を提案する試作モデルを『ガレージ&ホビーライブEXPO』(2014年5月・東京)に出展。モニタリングと販路開拓を行う。

③本事業のまとめとして、成果報告とプロジェクトへの参加を促すイベントを開催し、自主的に活動する協業体制づくりを行う。

(6) 燕三条ものづくり展示会開催事業

(事業費:28,200千円、財源:事業収入3,200千円、市負担金13,700千円、繰越財源11,300千円)

日本海側最大級、170社の出展を目標として、ものづくりの展示交流会を開催する。

燕三条地域の特徴的な技術を有する多くのものづくり企業と、当地域に有効な新技術を持つ企業などに出展いただき、地域内外に広く技術をPRし、ビジネスマッチングを図る。

国内外の商工団体や企業グループと連携して出展や来場に結びつけ、新たなビジネスチャンスの場とする。

また展示会の運営やマッチングのフォローには、地域企業を熟知しているOB人材等を有効に活用する。

・名称:燕三条ものづくりメッセ

・会期:平成26年10月(予定)

・会場:燕三条地場産センター メッセピア多目的大ホール他

・出展団体:

①燕三条地域企業(機械加工、プレス、板金、金型、表面処理及び工業製品)(100社)

②国内外のものづくり企業(30社)

③国内外の表面処理、プレス加工、溶接、機械加工等、各種加工技術及び装置企業(20社)

④県内外地域の大学、業界団体など(20社)

・出展規模:170社程度(地域外企業、学術機関100、地域企業 70)

・来場者数:目標5,000名(平成25年度実績1,327人)

・概要

①展示会での商談、ビジネスマッチング

②大手メーカーなどで活躍する著名人による特別講演

③ものづくり集積地の若手経営者などによるパネルディスカッション

④来場者、出展者による出展者の注目技術コンテスト

⑤機械加工系企業による競技会(全日本コマ大戦 燕三条大会等)

⑥県内大学などによるシーズプレゼンテーションまたはオープンイノベーションマッチング

(7) 戦略的基盤技術高度化支援事業

(事業費:22,500千円、財源:国受託事業収入22,500千円)

① 研究開発推進委員会の開催による研究開発の進捗管理

ケイセイエンジニアリング(株)が法認定事業者、地場産センターが事業管理機関として実施する『生体適合性プラスチック材料を用いた革新的医療用縫合針の研究開発』において、研究開発の進捗状況を確認する委員会を年3回程度開催し、研究開発実施機関7社、アドバイザーとともに進捗状況を管理する。3年計画の3年目。

② 研究開発実施機関に対する経費支出の管理

『生体適合性プラスチック材料を用いた革新的医療用縫合針の研究開発』において研究開発実施機関7社が支出する研究開発経費に対する経理処理の管理。

(8) 地域資源活用トータルデザイン推進事業

(事業費:2,340千円、財源:市負担金2,340千円)

① 地域資源を活用した商品群の開発

地域に精通し、愛情を持つコーディネータ、現場の知恵を持つ使い手、伝達能力に優れたデザイナーによるプロジェクトを結成し、開発コンセプトを作成。

参加企業を公募し、プロジェクトからのアドバイスを受けながら食に関する商品群の開発を行う。

② ブランド力・集客力のある場の活用による価値の付加

地場産センター「メッセピア」、燕三条「畑の朝カフェ」、燕三条イタリアン「Bit」など、実績のある場で開発した商品を使用することによる価値の付加をし、『ものづくりのトータルコンテンツを有する』燕三条を前面に打ち出したPRを行う。

③ しくみの活用による継続発展

次年度以降はしくみの活用による新規企業の参入、他分野への転用を行い、地域の継続発展を目指す。

【3】燕三条ブランド推進事業

○事業費:28,147千円

○財 源:事業収入114千円. 県補助金収入6,613千円. 市負担金21,420千円

【事業の重点】

燕三条プライドプロジェクトへの支援や地場産センター事業の充実により地域の知名度向上と地域の産業間・事業間連携の活性化を図り、燕三条ブランドを確立させる。Wingイベントやイメージ発信を柱に「燕三条」の知名度を上げる。

◆ 産業観光推進事業

工場見学やまちあるきを通じて燕三条のものづくりの心に触れていただき、グリーンツーリズムとともに体験型観光として一体的に推進する。

◆ 燕三条Wing運営事業

燕三条Wingの産業や観光の情報発信拠点機能を強化し、イベントや地域の観光情報、地域を代表する製品のPRを行うことにより、燕三条ブランドの認知度向上とイメージアップを図り、燕三条地域全体の活性化につなげて行く。

◆ 燕三条ブランド強化・発信事業

地域製品のブランド認証を進め、それらの製品や取組を展示会などでPRすることにより地域イメージの発信と販路拡大につなげる。

(1) プライドプロジェクト支援事業（事業費3,217千円:財源 市負担金3,217千円）

プロジェクト主体の事業に対して広報活動など側面からの支援を行う。

- ① 燕三条ブランド推進会議等の開催
- ② プライドプロジェクトの取組に対して事業PR等の支援

(2) 産業観光推進事業(事業3,661千円:財源 事業収入114千円 市負担金3,547千円)

- ① 春と秋のまちあるきイベントの総括並びに新たな立寄り先(工場・店舗など)の発掘、コース企画、ナビゲータ及びスタッフ養成に取り組む。
- ② 通年のまちあるきを可能とするためのモデルコースマップを作成する。
- ③ 自然体験等の活動に取り組んでいる団体の発掘と各団体が主催するイベントを集約したパンフレットを製作し、燕三条地域の小学校全児童に配布する。
- ④ 地域内の公園を会場に、自然体験イベント主催団体が一堂に会して行うイベントを企画開催する。
- ⑤ 工場の祭典参加企業などを中心とした地区や開催日を限定した工場見学の開催
- ⑥ 外国人向けの工場見学及びまちあるき開催の検討と試行
- ⑦ 観光パンフレットの増刷
- ⑧ 産業観光フォーラムの誘致

(3) 燕三条Wing運営事業(事業費6,663千円:財源 県補助金1,493千円 市負担金5,170千円)

- ① 燕三条Wingにおいて、定期的にイベント等を開催し施設の魅力向上と地域情報の発信に努める。
- ② イベントの発信力を高めるため、広報費用を措置
- ③ 通販サイト事業では、燕三条ブランド認証製品の他、認証品以外の燕三条地域企業の製品も掲載し、今まで以上に販売及び企業支援を推進する。
- ④ 燕三条Wing店内の燕三条ブランド認証品とその他製品のゾーニングを再考し、燕三条ブランドのブランドイメージが一層アピールできるよう、一部改装する。
- ⑤ 燕三条職人の言葉集「こうばのじてん」第二版の発行
- ⑥ 燕三条Wing店内のバナーを改製する。

(4) 燕三条ブランド強化・発信事業

(事業費14,606千円:財源 県補助金5,120千円 市負担金9,486千円)

- ① 朝カフェブランドを活用した事業展開支援として、イベントの開催や朝カフェブランド商品の製品化など新たな事業展開の支援を行う。
- ② 燕三条ブランドのコンセプトに合致した製品の開発支援を行うとともに、海外見本市に出展し販路開拓につなげて行く。
- ③ 「ものづくりのまち燕三条」のイメージ発信
 - ・ 産業観光の情報発信ツールの開発
スマートフォン向け情報発信ツールを構築し、「こうばのじてん」を始め、工場見学受入企業やご当地グルメ、観光スポットなどをデータベース化して一体的に展開する。
 - ・ ブランキングアート(廃材アート)グランプリの開催
 - ・ ライフスタイルマガジンの発刊
 - ・ 工場見学ツアー(市外県外から)の催行
- ④ 燕三条Wiki掲載内容の拡充、管理運営
- ⑤ 2015年ミラノ国際博覧会日本館イベント等への参画企画調整

【4】企業人材育成事業

○事業費:15,801千円

○財 源:事業収入 4,773千円. 市負担金 11,028千円

【事業の重点】

- ◆ 当地域企業の製造・開発現場の技術力向上を目的として、設計・製図の基本や金属材料などの基本的技術知識を得るための講座とともに、溶接など具体的加工分野の応用的技術や知識を身に付ける講座などを、地域内の各機関と連携しながら開催する。
- ◆ 地域企業が抱える経営課題、創業支援などに対応するため、専門家や先輩経営者などによる高度なノウハウの提供や経営革新の支援を行う。
- ◆ 広報誌・メルマガ・理事長記者会見・ホームページ等による最新の企業向け支援情報の発信を行うとともにセンターの利用促進に努める。
- ◆ 地域企業の販路開拓・売上アップ等のため、企業向け研修会を開催する。
- ◆ 地域企業のIT活用相談に対応するため、個別企業への専門家派遣を行う。
- ◆ センター事業や地域情報をより効果的に発信できるホームページを目指しリニューアルを行う。

(1) 燕三条ものづくり大学事業(技術研修講座)

(事業費2,670千円. 財源 事業収入2,670千円)

● 技術基礎コース

① 金属材料基礎講座 (2時間×12日間、20人)

主に鉄鋼材料に関する基礎的知識を習得する講習会。

② 図面の見方・描き方入門講座(2時間×9日間、20人)

JIS規格に基づいた製図法を習得する講習会。

③ 製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座(2時間×5日間、15人)(新規)

各種技術の基本の材料の基本、化学反応、力学、三角関数や対数などを再勉強する講習会。

● 専門分野集中研修コース

④ 溶接技術集中講座 (3時間×3日間、15人)

溶接に必要な金属材料の基礎、各種溶接技術、材料の溶接特性などを習得する講習会。

⑤ プレス加工集中講座 (3時間×4日間、15人)(新規)

絞り加工、剪断加工、板金展開や金型に関する集中講座。

⑥ 表面処理集中講座 (3時間×3日間、15人)(新規)

表面や腐食に関する基礎知識と、めっきなどの表面処理技術に関する知識を習得する講習会。

⑦ 熱処理技術集中講座 (3時間×3日間、15人)(新規)

刃物等の製品や金型等の工具の熱処理技術の基本を習得する講習会。

⑧ 精密板金設計と加工の要点集中講座 (3時間×3日間、15人)(新規)

板金加工の基本的知識と展開図法の基本技術を習得する講習会。

⑨ 知財活用技術講座 (3時間×3日間、10人)

特許、実用新案などの知的財産権を自ら出願できる能力を習得する講習会。

● 生産現場に対応する技術マネジメントコース

⑩ 課題解決力強化講習会 (3時間×8日間、10人)

価値分析や付加価値向上手法を習得し、自社の課題を解決出来る能力を習得する講習会。

(2) 戦略的ものづくり経営力強化事業

(事業費2,207千円、財 源 事業収入196千円、市負担金2,011千円。)

① 営業力強化のためのマーケティング手法セミナー

市場開拓に向けたマーケティングの考え方、営業力強化法など。

② 戦略的事業創出プロジェクト(新規)

専門家集団を活用した燕三条地域企業の事業の再構築を支援。地域企業が新商品開発や既存商品の見直し、新事業立ち上げに際して専門家の力を借りながら戦略的に支援を行う(2社程度)。

③ 専門家を直接企業に派遣し、個別企業の課題解決への対応

生産管理、顧客満足(CS)、商品企画などの企業経営に関する相談に対し、専門家より直接企業に出向いていただき、指導・助言を行う。

(3) 企業向け情報提供事業

(事業費10,924千円、財 源 事業収入1,907千円、市負担金9,017千円。)

① 広報活動の強化

- ・ 広報誌リサーチコアレポートを年4回発行し、リサーチコアの企業向け各種支援事業のPRを行うとともにリサーチコアの利用促進を図る。
- ・ 燕三条地域の各支援機関が実施する各種研修事業を、目的別に全コースを掲載したパンフレットを作成する。
- ・ 企業に役立つ情報をホームページに「ビジネス情報提供」として掲載し、月2回配信しているメールマガジンにおいても同内容のものを掲載する。
(センター事業/展示会等イベント/企業支援制度/研修・セミナー/経済・景況情報)
- ・ 理事長記者会見等によりセンター事業全般の広報を行う。

② 企業向け研修会の開催

業務に活用できる企業向け研修会を開催する。

- ・ イラストレータ入門講座 (2h×5回×2コース、16人)
- ・ イラストレータ中級講座 (2h×5回×3コース、24人)
- ・ エクセル活用講座 (2h×5回×2コース、30人)
- ・ ソーシャルメディア活用講座 (2h×3回×1コース、10人)
- ・ ネット販売のための商品撮影講座 (2h×3回×1コース、10人)

③ IT活用個別相談事業

地域企業からのIT活用に関する相談に対応するため、センター職員及び必要に応じて専門家の派遣を行う。

④ 情報研修室OA 機器、研修用ビデオの貸出し

- ・ 情報研修室(パソコン、プロジェクター)の貸出しを行う。
- ・ 企業内研修用にビデオ・DVD の貸出しを行う。

⑤ ホームページ・フリースポットの管理・運営

- ・ センターホームページのリニューアル及び管理運営を行う。
- ・ センター及び燕三条Wingのフリースポットの管理・運営を行う。

⑥ 情報関連機器の維持管理他

各種サーバ他IT機器のメンテナンスとバックアップ

【5】需要開拓事業

○事業費:74,971千円

○財 源:事業収入121,463千円 市負担金3,000千円

【事業の重点】

- ◆ 多様化する消費者のニーズに合せた商品構成と地場製品の良さをPRするとともに、消費者購買動向や新商品の情報収集を行い、魅力ある店づくりの実現を目指す。また、誘客宣伝では大手旅行会社とタイアップした企画や商工団体等に対する観光視察の誘致により、燕三条産業観光を推進し首都圏を含めた近隣地域への積極的な誘客宣伝を行うことで「ものづくりの町」燕三条を効果的にPRすると同時に、個人来館者が増加傾向にあることから、分かりやすく充実した観光用ホームページを再構築し閲覧者の来館を促進する。
- ◆ 燕三条駅観光物産センター事業ではデザイン性の優れた商品を展示販売することで、燕三条の認知度向上及びイメージアップを図る。

(1) 展示・即売事業

(事業費:57,610千円. 財源:事業収入102,425千円 市負担金3,000千円)

- ・ 常設展示即売場の他に各種イベントを開催し、新商品・話題商品を広く県内外にPRする。
- ・ 観光バス等で県内外からの来館者に対し、体験型観光による包丁研ぎ体験を通じ刃物の良さを理解してもらい地場製品のPRを行う。また、包丁購入者に対し包丁名入サービスを行い売上の向上を図る。
- ・ 首都圏を含めた近隣地域を中心とした大手旅行会社とタイアップした企画や、商工団体等に対する観光視察の誘致により、燕三条産業観光を推進し地場製品のPRを行う。
- ・ ネットショップでは商品紹介ページを拡充し、燕三条の魅力ある商品を全国の消費者へ広く紹介し売上の増加を図る。
- ・ 燕三条の玄関口として、地域外の方々に産地イメージをPRできるよう商品の展示方法や店内レイアウトの見直しを行う。
- ・ 市や業界団体と連携してカレー産業博を開催し、地場製品のPRと産業観光の推進を図る。

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業費:17,361千円. 財源:事業収入19,038千円)

- ・ 新幹線利用者を中心にGマーク受賞商品等を展示即売する他、新商品や話題性のある商品を展開し、地場製品のPRを実施する。
- ・ 定期的にミニイベントを開催、地元客はもちろんのこと県外客に燕三条Wingの店舗PRと集客を図る。

【6】収益事業

○事業費:87,709千円

○財 源:事業収入141,501千円

【事業の重点】

- ◆ 燕三条製品の良質な刃物やハウスウェアを安心かつ安価に提供できる場を設け、産地のイメージアップを図ることでリピーター(燕三条ファン)をつくりだし、その他の燕三条製品の販売拡大を行い地域経済の活性化を促進する。
- ◆ 貸館事業、レストラン運営事業で連携を図りながら営業活動を強化し、パーティーの獲得と会場への飲食提供の増加に努める。また、施設利用においては臨機応変に対応を行ない、お客様の利用満足度を上げる対応を心がけ、施設利用の増加に努める。

(1) 他地域連携販売事業 (事業費:2,157千円. 財源:事業収入4,240千円)

- ・ 他地域の地場産センター及び県内外の食品加工製造業者の出席により、一般消費者がより気軽に来場していただける刃物フェアを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品の販売拡大を行うと同時に、地場産業に関連するイベントを併設することで「ものづくりの町」燕三条を効果的にPRする。
- ・ 地域外の新潟県の特産品を販売することにより、観光施設のイメージアップを図り顧客満足の向上を促す。

(2) 貸館事業 (事業費:16,651千円. 財源:事業収入68,360千円)

- ・ アクセスの良さを前面に打ち出した営業活動の強化を図り、施設利用の増加に努める。
- ・ お客様と密に連携を取りながらイベントの成功を支援するとともに、お客様に満足していただけるサービスを提供する。
- ・ レストランと連携を図り「研修会&懇親会」でのセンター利用の増加に努める。
- ・ 会議室でのパーティ利用者に燕三条を広く知っていただくため、四季折々の風景や産業等を紹介できるタペストリーを作成し、取り付けができるようにする。

(3) レストラン運営事業 (事業費:68,901千円. 財源:事業収入68,901千円)

- ・ 飲食提供や懇親会の場を通し、施設利用者及び来館者へサービスの提供を行う。
- ・ 燕三条の工業製品を食事のツールとして利用することにより、燕三条を体感していただける場を提供する。
- ・ 燕三条を中心とした県内農産物・加工食品を取り入れた季節ごとの旬メニューを構成し、燕三条を伝えていくことに努める。
- ・ 店内の限定メニューやイベント企画、貸切パーティなど、広告宣伝や営業活動により集客・売上増を図る。
- ・ 燕三条の玄関口として地域をイメージした店内リニューアルを行い、燕三条の食とイメージを提供する。